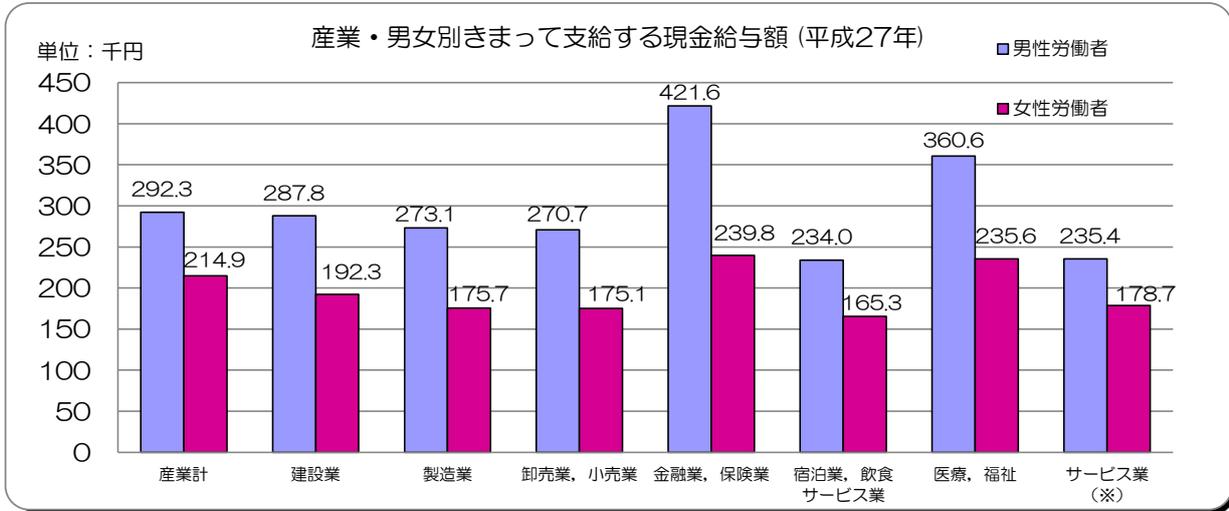


宮 崎 県 の 賃 金 概 要

1 産業・男女別きまって支給する現金給与額

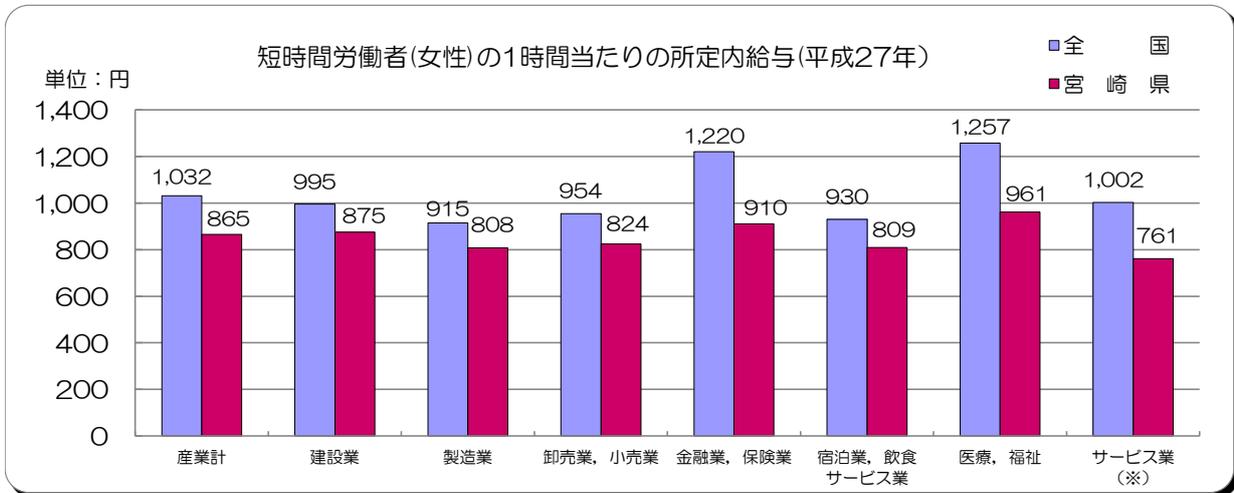
きまって支給する現金給与額（産業計）の男性労働者（100%）に対する女性労働者の産業別現金給与額比率は、下図のとおりであるが、その割合が特に低いのは金融業、保険業の56.9%、次いで製造業の64.3%である。（第1表参照）



	産業計	建設業	製造業	卸売業、小売業	金融業、保険業	宿泊業、飲食サービス業	医療、福祉	サービス業 (※)
男性労働者	292.3	287.8	273.1	270.7	421.6	234.0	360.6	235.4
女性労働者	214.9	192.3	175.7	175.1	239.8	165.3	235.6	178.7
女/男 (比率)	73.5%	66.8%	64.3%	64.7%	56.9%	70.6%	65.3%	75.9%

2 短時間労働者（女性）の所定内給与額

短時間労働者（女性）の1時間当たりの所定内給与額（時間額）を全国平均（100%）と宮崎県で比較してみると、下図のとおり産業計で83.8%である。業種別では、金融業、保険業の74.6%、サービス業（ほかに分類されないもの）の75.9%が特に低くなっている。（第3表、第4表参照）



	産業計	建設業	製造業	卸売業、小売業	金融業、保険業	宿泊業、飲食サービス業	医療、福祉	サービス業 (※)
全 国	1,032	995	915	954	1,220	930	1,257	1,002
宮 崎 県	865	875	808	824	910	809	961	761
宮崎/全国 (比率)	83.8%	87.9%	88.3%	86.4%	74.6%	87.0%	76.5%	75.9%

(注) サービス業 (※) は、正式には「サービス業 (他に分類されないもの)」である。

3 産業別現金給与額の推移

平成22年の現金給与額を100とした場合、平成27年の指数は、下表のとおり産業計で106.2となっている。（第6表参照）

産業別現金給与額比率（27年/22年）

	産業計	建設業	製造業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	宿泊業、飲食 サービス業	医療、福祉	サービス業 (※)
23年	99.4	100.3	101.9	101.4	96.5	95.1	97.5	90.0
24年	97.2	130.8	99.8	113.5	67.0	99.4	92.0	81.1
25年	97.5	122.6	99.3	114.7	65.2	100.5	96.7	81.2
26年	98.9	120.0	103.6	118.3	71.6	105.0	95.6	82.3
27年	106.2	106.3	101.8	110.5	87.2	96.0	111.9	79.5

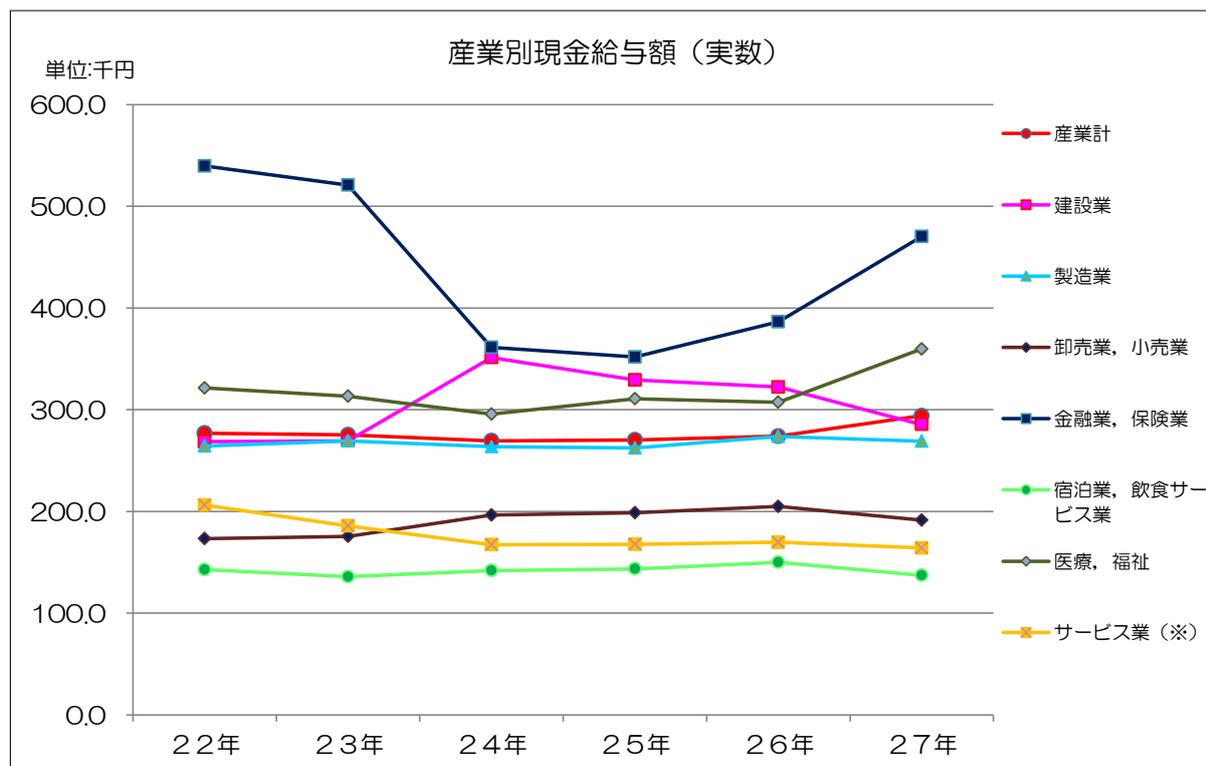
産業別現金給与額の推移（事業所規模30人以上）

単位：千円

	産業計	建設業	製造業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	宿泊業、飲食 サービス業	医療、福祉	サービス業 (※)
22年	276.9	268.6	264.3	173.2	539.6	142.8	321.4	206.4
23年	275.2	269.4	269.3	175.5	520.7	135.9	313.4	185.7
24年	269.3	351.2	263.8	196.6	361.3	142.0	295.6	167.4
25年	270.1	329.2	262.4	198.7	351.9	143.6	310.7	167.6
26年	273.9	322.3	273.8	204.9	386.4	150.0	307.4	169.8
27年	294.1	285.4	269.0	191.4	470.4	137.1	359.7	164.1

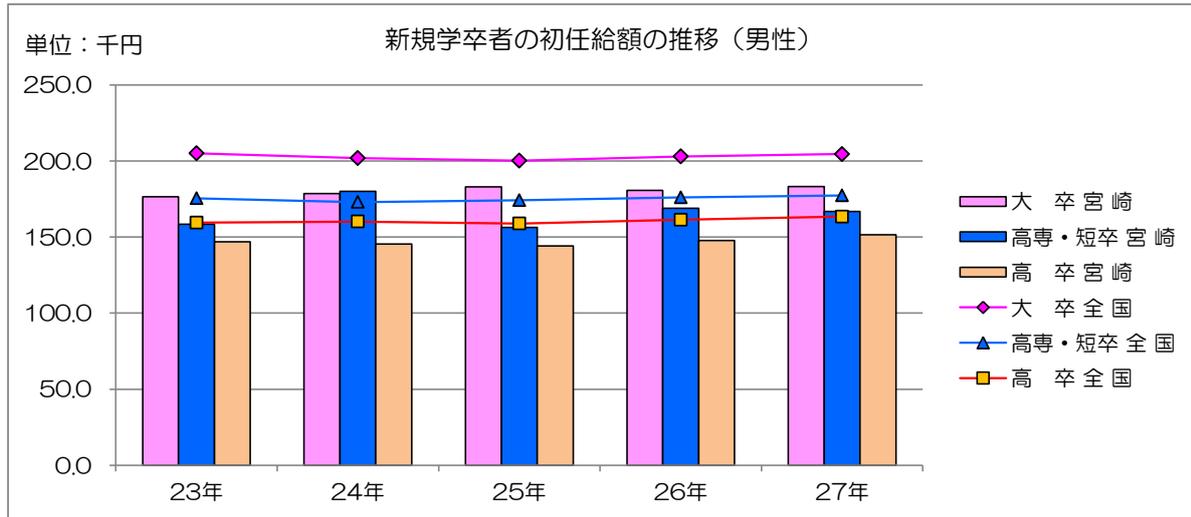
（注1）指数は5年ごとに改定を行っており、平成22年を100としている。

（注2）サービス業（※）は、正式には「サービス業（他に分類されないもの）」である。



4 新規学卒者の初任給額

平成27年は、前年に比べ、男性では、「高卒」が額で3,800円、率で2.6%増、「大卒」が額で2,400円、率で1.3%増であったのに対し、「高専・短大卒」では、額で2,200円、率で1.3%の減となった。（第8表参照）

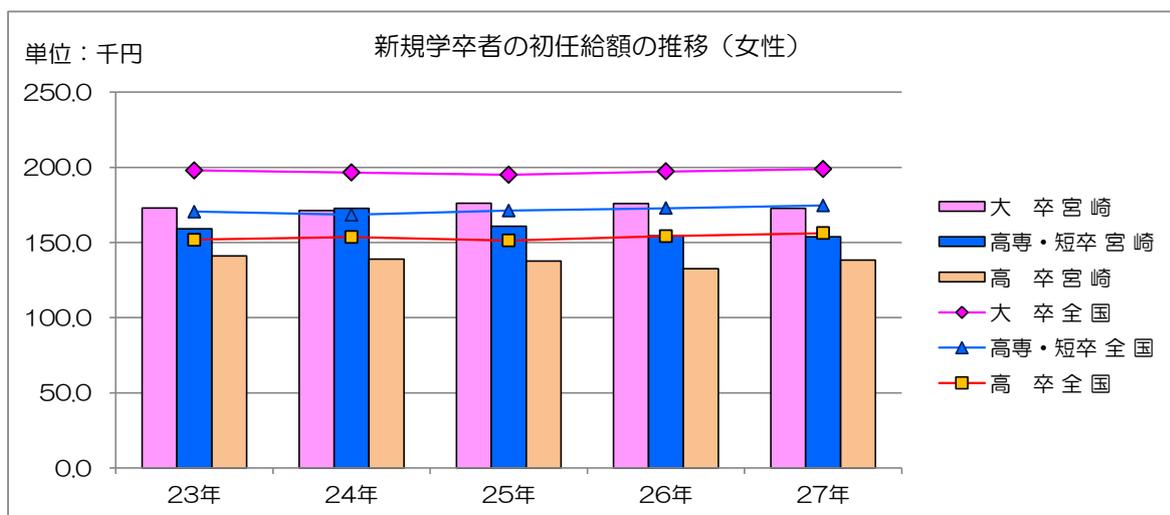


新規学卒者の初任給 男性 産業計

単位：千円

		23年	24年	25年	26年	27年
大卒	全国	205.0	201.8	200.2	202.9	204.5
	宮崎	176.5	178.6	183.0	180.7	183.1
高専・短大卒	全国	175.5	173.0	174.2	176.1	177.3
	宮崎	158.5	180.0	156.4	169.0	166.8
高卒	全国	159.4	160.1	158.9	161.3	163.4
	宮崎	146.9	145.5	144.2	147.7	151.5

女性では、「高卒」が額で5,800円、率で4.4%増であったのに対し、「大卒」では額が3,100円、率で1.8%の減、「高専・短大卒」が額で600円、率で0.4%の減であった。（第8表参照）



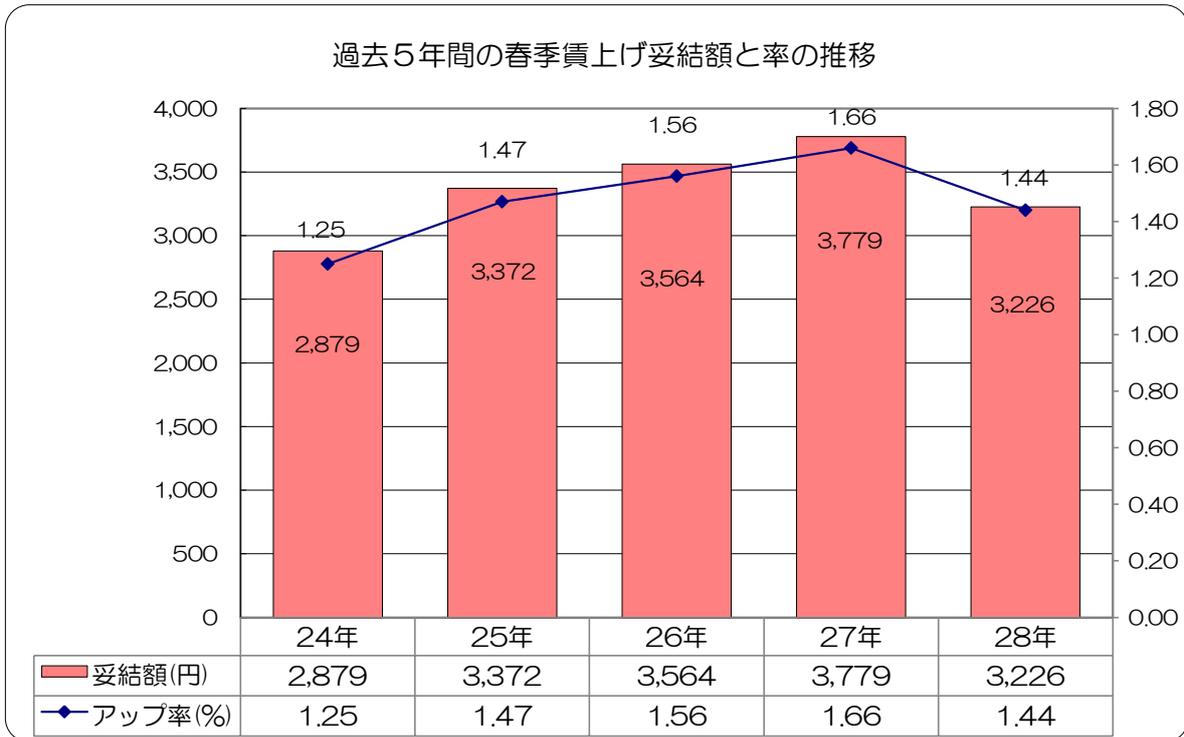
新規学卒者の初任給 女性 産業計

単位：千円

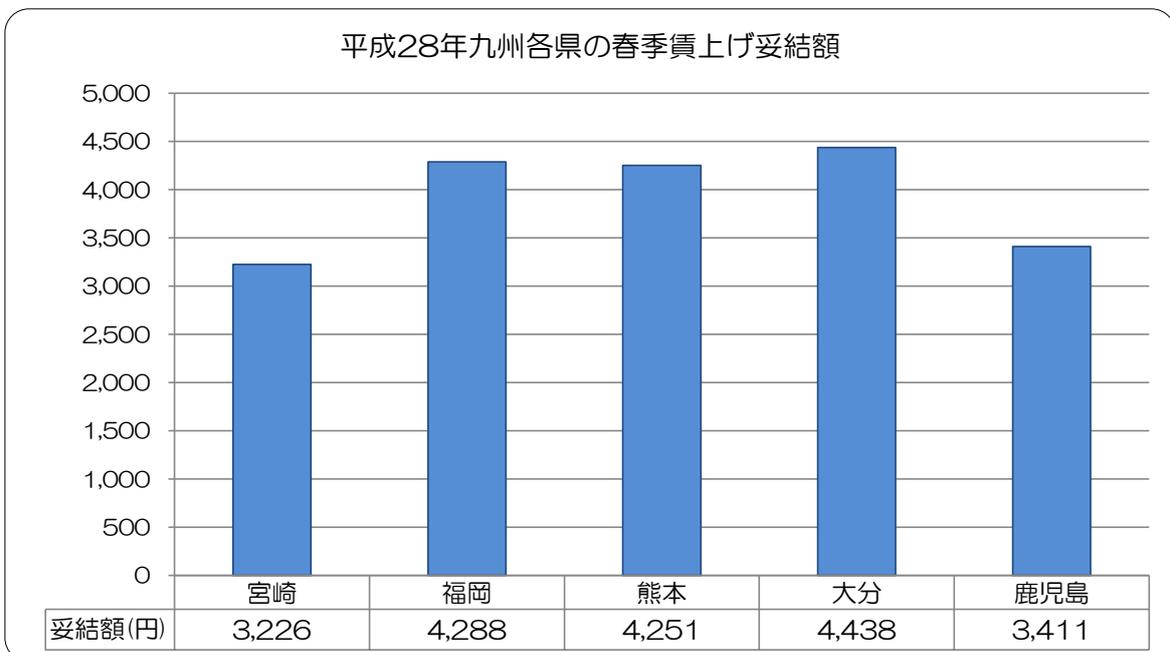
		23年	24年	25年	26年	27年
大卒	全国	197.9	196.5	195.1	197.2	198.8
	宮崎	172.9	171.2	176.1	175.9	172.8
高専・短大卒	全国	170.5	168.4	171.2	172.8	174.6
	宮崎	159.2	172.8	160.9	154.5	153.9
高卒	全国	151.8	153.6	151.3	154.2	156.2
	宮崎	141.1	138.9	137.6	132.5	138.3

5 春季賃上げ妥結額

県内の労働組合から抽出調査した51組合の平成28年度春季賃上げ要求に対する平均妥結額は、3,226円であり、妥結労働組合の平均賃金額に対するアップ率は、1.44%だった。
(第10、11表参照)



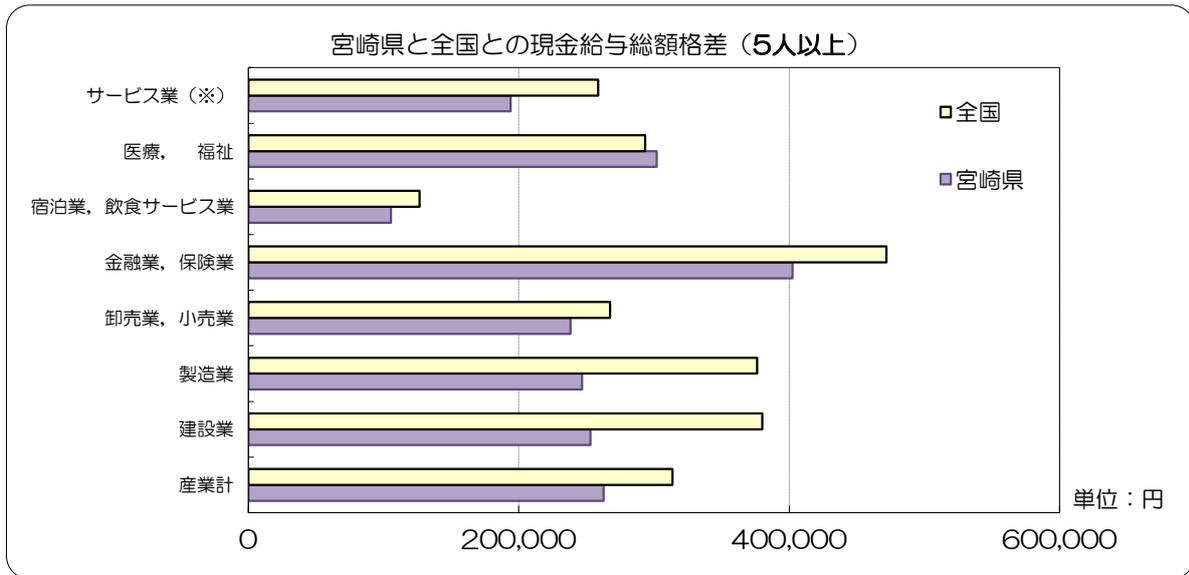
九州各県の春季賃上げ要求・妥結状況 (第12表参照)



(注) 長崎県は、平成24年度で調査終了。
佐賀県は、平成26年度で調査終了。

6 宮崎県と全国の賃金比較

宮崎県と全国(100%)との賃金比率は、事業所規模5人以上の産業計では83.7%となっている。(第17表参照)

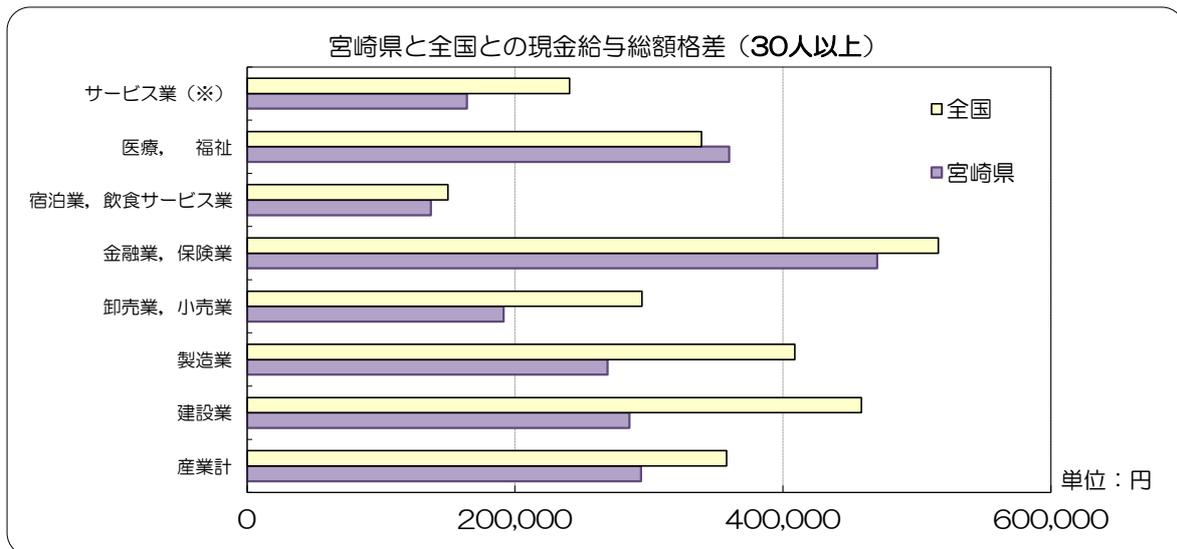


宮崎県と全国の賃金比較 (事業所規模5人以上)

単位：円

	産業計	建設業	製造業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	宿泊業、飲食 サービス業	医療、 福祉	サービス業 (※)
宮崎県	262,774	252,965	246,750	238,184	402,501	105,325	302,114	194,006
全国	313,801	380,141	376,331	267,524	471,964	126,673	293,452	258,681
格差	83.7%	66.5%	65.6%	89.0%	85.3%	83.1%	103.0%	75.0%

また、事業所規模30人以上は、下図のとおり産業計で82.2%となっている。(第17表参照)



宮崎県と全国の賃金比較 (事業所規模30人以上)

単位：円

	産業計	建設業	製造業	卸売業、 小売業	金融業、 保険業	宿泊業、飲食 サービス業	医療、 福祉	サービス業 (※)
宮崎県	294,080	285,445	268,972	191,416	470,352	137,135	359,720	164,144
全国	357,949	458,536	408,854	294,728	515,879	149,974	339,296	240,615
格差	82.2%	62.3%	65.8%	64.9%	91.2%	91.4%	106.0%	68.2%

(注) サービス業(※)は、正式には、「サービス業(他に分類されないもの)」である。